黒潮町事前復興まちづくり計画

概要版

黒潮町

1 黒潮町事前復興まちづくり計画とは

黒潮町事前復興まちづくり計画とは、**南海トラフ巨大地震に伴う大災害が起こる前に、事前に復興のことを考える計画**です。

2 東日本大震災が残した教訓と課題

◆地域社会経済活動の縮小の加速化

他地域への転出や事業所の廃業などが発生し、**地域社会の課題をより一層深刻化させる**状況となった。

◆多岐にわたる利害関係者の意向把握の難化

住民や事業者は被災後の先行きが見えない中で、住宅再建や事業再建に関する**意向を確定させることが困難**となった。

災害発生前から事前に“復興まちづくり”について検討しておくことが重要!

- ☑ 住民・事業者の迅速かつ継続的な意向把握
- ☑ 多様な関係機関を含む復興まちづくりのプロセスの確立
- ☑ 基幹産業の早期再建への対応
- ☑ 地域生活を支える産業の再建支援

※この計画は、今後の社会情勢などを踏まえて更新していく予定です。
※この計画に記載されている復興まちづくりイメージなどは、あくまでも便宜上のものであり、地権者・関係者等の同意を得ているものではない点ご留意下さい。

3 計画対象地区と被害想定

黒潮町事前復興まちづくり計画では、南海トラフ巨大地震により大規模災害が予想される佐賀13地区を対象とします。

被害想定

南海トラフ巨大地震が発生した場合、津波浸水面積は1,222ha（町面積の6.5％）と想定されており、都市計画区域内の広範囲が津波浸水想定区域に設定されています。
土佐佐賀駅周辺、特に駅の東側では、浸水深20mを超える津波浸水が想定されています。

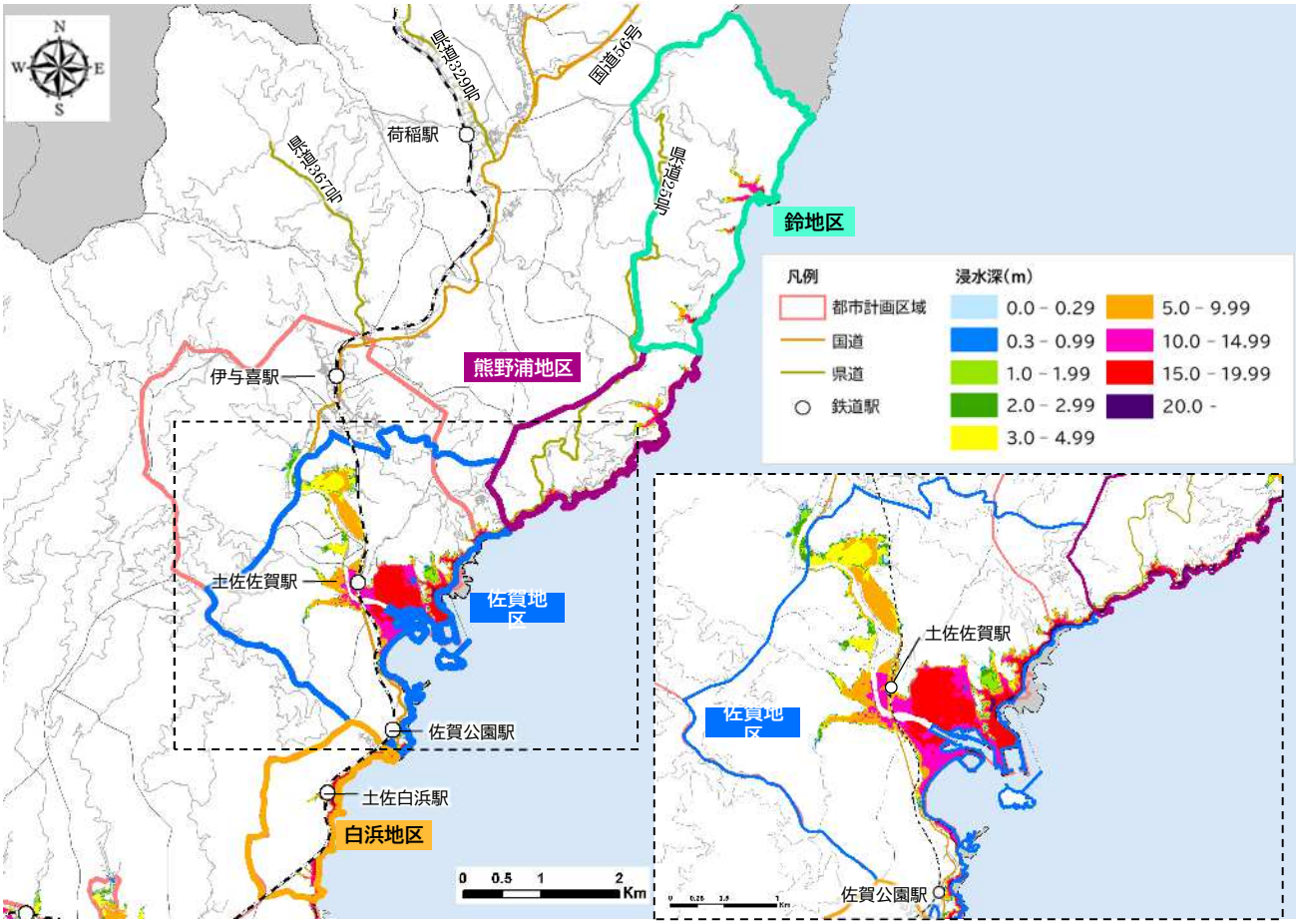


図　計画対象地区と被害想定

4 黒潮町事前復興まちづくり計画の構成

黒潮町事前復興まちづくり計画は、「復興基本方針」に基づき、「復興まちづくり計画」「事前準備計画」の2つで構成されます。

黒潮町事前復興まちづくり計画の構成

復興基本方針

被災前に計画を策定しておくことで、住民が希望を持って住み続けることができるまちづくりを早期に実現します。

- ①命を守る
- ②生活を再建する
- ③なりわいを再生する
- ④歴史・文化を継承する
- ⑤地域の課題等の解決につなげる

反映 ↓ 反映 ↓

復興まちづくり計画

被災後の速やかな生活再建と創造的な復興まちづくりをイメージするための計画

整合 ↔

事前準備計画

目指すべき将来像の実現に向けたまちづくりを見据え、被災前に事前に準備しておくための計画

5 復興の基本的な考え方

復興基本方針

スピード感をもって、安全かつ持続可能なまちが復興できるよう
復興の基本方針（五本柱）を策定

6 復興基本方針

5つの復興基本方針を軸に、住民が希望をもって生み続けることができるまちづくりを早期に実現します。

① 命を守る

- □ 安全な居住エリアの創出
- □ 地区の防災力強化
- □ 事前の避難体制の構築

② 生活を再建する

- □ 応急仮設住宅の供給体制の整備
- □ コミュニティの維持
- □ 経営再建の支援

③ なりわいを再生する

- □ 産業の復興
- □ 住まいとなりわいの場の確保
- □ 企業誘致によるなりわいの確保

④ 歴史・文化を継承する

- □ まちの魅力や個性の継承
- □ 災害の教訓の伝承
- □ 文化の継承

⑤ 地域の課題解決につなげる

- □ 居住地及び都市機能の集約化
- □ 移住の促進
- □ 新技術の活用

7 復興まちづくり計画

復興まちづくり計画とは、被災後の速やかな生活再建と創造的な復興まちづくりをイメージするための計画です。

復興まちづくり計画

①復興期

土地利用計画図などにより、市街地の復興イメージを具体化。

②初動対応期以降

復興体制や災害対応を時系列で検討し、復興までのタイムラインを作成。※詳細は計画本編をご参照ください。

復興まちづくりの基本的な考え方

佐賀地区

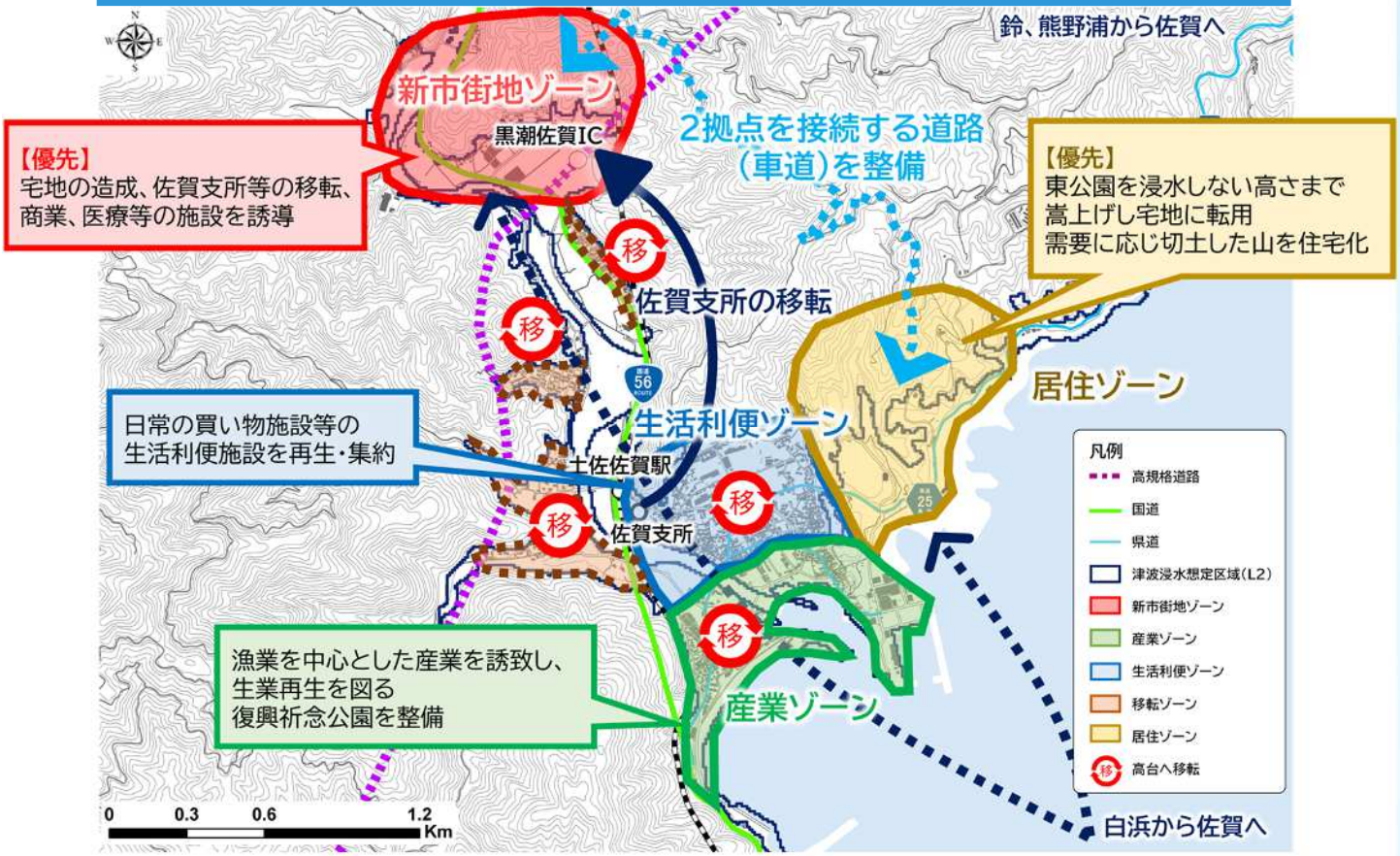
- 内陸側の佐賀ICを中心とした新市街地と海側の東公園を中心とした地域拠点を創出し、2拠点連携型都市構造を目指します。
- 現位置再建、内陸移転、高台移転など居住地再建方法を多様化させ、生活スタイルやライフステージに応じた選択ができます。

白浜地区・鈴地区・熊野浦地区

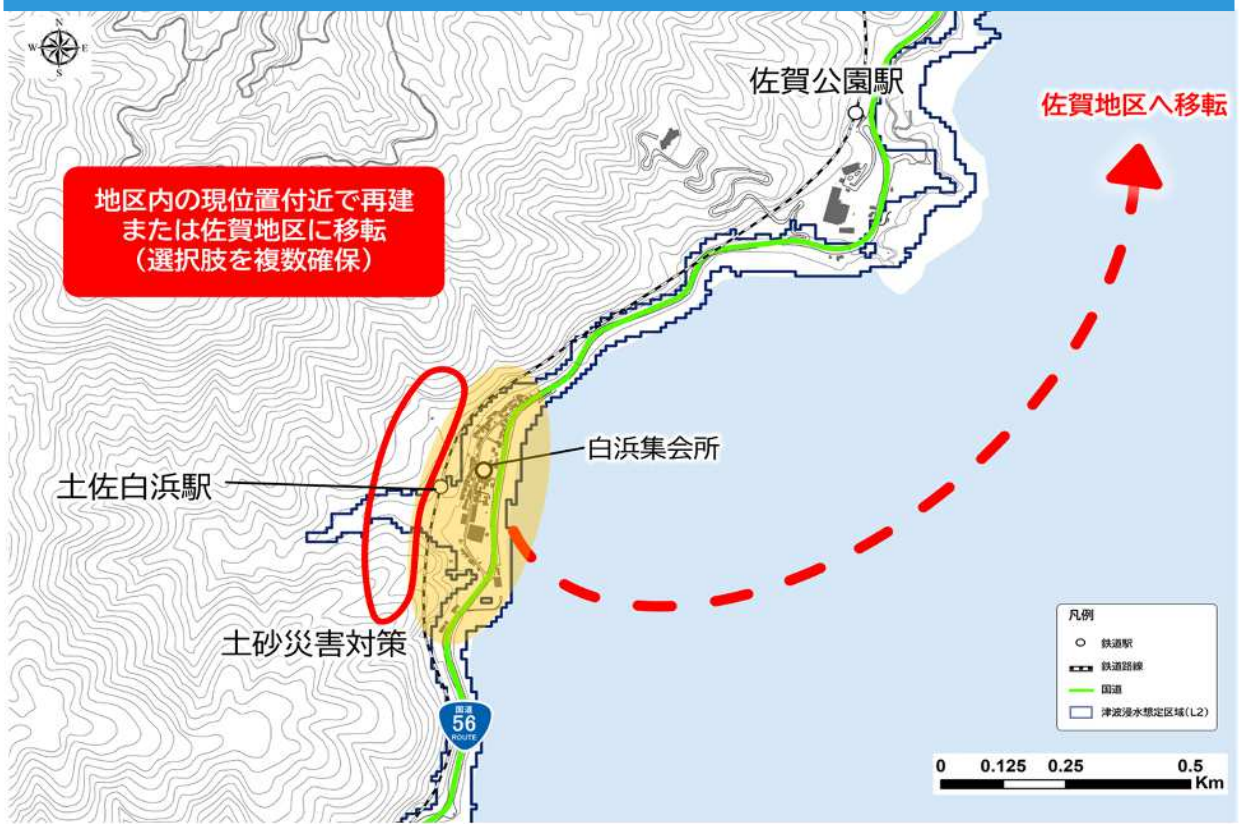
- 基本的な居住地再建の方法は、地区内の原位置付近で再建または佐賀地区への移転。原位置で再建する際は、命を確実に守るために、避難体制を整備します。
- 佐賀地区に形成される新市街地や地域拠点へのアクセスを確保し、地域全体の利便性を向上させます。

7 復興まちづくり計画

佐賀地区の復興まちづくりイメージ



白浜地区の復興まちづくりイメージ



7 復興まちづくり計画

鈴地区の復興まちづくりイメージ

熊野浦地区の復興まちづくりイメージ

8 事前準備計画

事前準備計画とは目指すべき将来像の実現に向けたまちづくりを見据え、被災前に事前に準備しておくための計画です。

復興事前準備の必要性

○被災前に準備しておくことで、被災後すぐに復旧・復興を進めることができます。

○「被災前よりも安心安全で、持続可能な未来を創造する」ためには、今から備えて準備しておくことが大切です。

事前準備計画で定める事項

①佐賀支所の高台移転、高台公園の整備
②住宅の高台移転の検討
③避難路や山腹の安全強化
④集落の集約・再編の検討
⑤総合戦略と連携した地震・津波対策の推進
⑥地域防災計画と連携した応急復旧対応
⑦L1水準の海岸保全施設（防潮堤）整備の働きかけ
⑧応急復旧用地等の調整
⑨復興まちづくりの利用適地抽出
⑩復興まちづくり事業の手法整理
⑪広域連携の推進
⑫復興体制等の確立に備えた事前の取組
⑬若い世代の定住・移住支援
⑭農林水産業の振興

黒潮町事前復興まちづくり計画 ー概要版ー　発行：黒潮町情報防災課
〒789-1992 高知県幡多郡黒潮町入野5893番地
☎ 0880-43-2188　　0880-43-2060